

令和7年度 銀山中学校グランドデザイン

目指す子どもの姿～ふるさとを愛し 自他の良さを認め合い 未来を共に生きる 銀山の子
学びを重ねる子(知) 思いによりそう子(徳) 明るく元気な子(体)

【学校教育目標】
「自ら考え、自ら歩み、共に生きる子」

【重点目標】「なりたい自分に向かって 主体的に学び合う子の育成」

9年間
各ステージの姿

第3ステージ 中2/中3
夢の実現に向けて自ら考え行動する自主自立

第2ステージ 小5/小6/中1
目標に向けて意欲をもってやりぬくたくましい向上心

第1ステージ 小1/小2/小3/小4
学習と集団生活のきまりを身につける基礎・基本の定着

組織的に
取り組む事項

まなび

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 学習内容の定着を確認、支援
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」のある授業
- ICTを積極的に活用した教育の推進

からだ

- 基本的な運動技能の習得、体力向上
- 積極的な運動、体育の授業(・部活)の充実
- 自己の健康の保持増進
- 生活習慣の意識化

こころ

- あいさつ、時と場に応じた言動
- 子供の主体的ないじめ防止活動
- 自他を大切にする心の醸成
- 正しいと思うことをやり遂げる

ちいき・かてい

- ふるさとキャリア教育
- 防災への関心を高める防災教育(命は自分で守る)
- 生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)
- 学習習慣(読書・家庭学習)

小中連携の
メリット

＜一貫した取組＞

- 学習内容の確実な定着
- 特別支援教育の充実
- 基本的な技能、体力向上
- 道徳教育の充実
- いじめ等の未然防止
- 生徒指導の4視点を生かした学校づくり
- 小中職員の(交流・参観・乗り入れ)授業

- 学習習慣の定着
- UDLに基づいた学級づくり
- 運動の意義や健康的な生活についての理解
- 児童生徒の自尊心の醸成
- 欠席しがちな児童生徒への支援
- 学校(働き方)改革の取組

キーワード 「そろえる・つながる・つみあげる」